

尼崎市子ども・子育て審議会 第7回計画策定部会 議事録

開催日時	令和元年10月17日(木) 午後6時30分～午後8時30分
開催場所	尼崎市役所 議会棟3階 西会議室
出席委員	瀧川部会長、大和委員、梅本委員、山本委員、和田委員、堀川委員、平之内委員
議題	(1) 次期次世代計画及び子ども・子育て支援事業計画(案)について (2) その他
資料	・資料1 第4期尼崎市次世代育成支援対策推進行動計画及び第2期尼崎市子ども・子育て支援事業計画(案) ・参考資料1 「第4期尼崎市次世代育成支援対策推進行動計画」及び「第2期尼崎市子ども・子育て支援事業計画」資料編の構成(案)

開会

- 配布資料の確認

1 次期次世代計画及び子ども・子育て支援事業計画(案)について

- 資料1、参考資料1に基づき、事務局から説明

委員

「いくしあ」のチラシのデザインが良いと感じており、計画の3ページのレイアウトが非常に似ていましたので、色は「いくしあ」のチラシの表紙の背景色と同じにすると、「いくしあ」も関連しているというPRにもつながりますし、見やすくなると思います。

また、「4つの目標」を囲っている図形をハートマークにして、空欄のスペースに「4つの目標に関連する取り組み内容は資料編に記載してある」という表記があれば、興味のある人をスムーズに資料編に誘導できるレイアウトになると思います。

部会長

ありがとうございます。今のように率直に考えられたことなどご提案いただければと思います。また事務局のほうに確認したところなどについてもご意見をいただきたいと思います。

委員

前回よりすっきりしていて文章がとても読みやすくなったと思います。3ページの4つの目標に関して、黄色の背景色に白字は見づらいつ感じましたので、背景色をはっきりとわかるようなものにした方がよいと思いました。

また、4つの目標の中に黄色い枠の中で取り組みのキーワードのようなものが簡潔にまとめられているのですが、4つ目の目標の「子どもたちの生きる力をはぐくむ環境づくり」の中に、「エ

ビデンスの研究結果を活用し」という文言があります。個人的には「調査結果に基づくアプローチ」などに表現を変えた方が「エビデンス」という言葉に馴染みがない方もおられると思いますので、分かりやすくなると思います。

4つ目の目標の「不登校対策の取り組みを強化していきます」と3つ目の目標の「引きこもりに対する支援を行い、重篤化や長期化の防止、未然防止を図ります」という文言の内容が非常に似ていると思うのですが、それぞれの意味合いは違うのでしょうか。

事務局

1つ目の「エビデンス」という言葉は、日本語だと「科学的根拠」という意味になるのですが、もう少しわかりやすい言葉を検討させていただきたいと思います。

また、不登校と引きこもりについて、不登校対策は主に学校での取組で、引きこもりに対する支援に関しては学校卒業後も含む内容になっています。

委員

3ページで「子どもの育ちセンター」としか書いていないので、その後ろに（いくしあ）と書いていただければと思います。

また、目標ということで、この計画は令和6年までですので、それよりも前倒しで達成できるものがあれば「何年までに」と載せた方がよいと思います。

事務局

冊子では、これから5年間、尼崎市で特に重点的に力を入れて取り組んでいくことを書いています。具体的な内容については、資料編で記載していこうと思っています。

今の時点で、完了の時期が決まっていないものは資料編の中で、検討が進むにつれて記載されていくのかなと思います。一方で、確実にこの時点でやることになっていることについては、ご意見の通り、わかりやすく書くということもあるかと思います。その辺りのことについて書けるものと書けないものはあると思いますが参考にさせていただきたいと思います。

部会長

3ページに乗せる目標は5年間で重点的に取り組んでいくものだけを記載しているということでもよろしかったでしょうか。細かい内容は資料編に載せ、重点的な目標は冊子に載せるという理解でもよろしいでしょうか。

委員

2ページの3つの視点について、「楽しんで子育てができる環境づくり」から「子育てを楽しむための支援」という表現に変えていただき、これを目にされた方が尼崎市に住んだら楽しい子育てができると思ってもらえるような表現になったのでとても良くなったと思いました。

また、私も個人的には黄色の背景色に白字は見にくいと思いましたので、見やすくしていただきたいと思います。

加えて、4つの目標の「子どもの育ち支援センター」の文言について、病院の先生方からは「子どもの育ち支援センター」というのは正式名称ではなく一般名称だと思われることが多く、「本当の名称は何なのか」と聞かれたりするので、「子どもの育ち支援センター」が正式名称で、

「いくしあ」が愛称です」とお伝えしております。浸透するまでは「子どもの育ち支援センター（いくしあ）」と表記した方がよいと思います。

委員

タイトルが「わいわいキッズプラン」で、「子どもの笑顔が輝くまち」とあるのですが、目を引く表紙ではないのが残念です。デザイン性の問題なのですが、パッと見て手に取りたいと思うようなものに仕上がればよいと思います。また、背景色が黄色で白字の部分については私も感じたので、3ページのいくしあのチラシに合わせた4色使いなどが実現すれば、ページを開いたときに心が惹かれるのではないかと思います。まずは、手に取ってもらえるような表紙づくりを工夫していただけたらと思います。

委員

2つ目の目標の「子育てと仕事の調和の実現に向けた環境づくり」の内容について、「待機児童の解消」「質の高い就学前教育・保育を提供」「保育士の確保」など、施設の受け入れについて記載がありますが、「男女がともに社会での役割を平等に果たし、家庭、地域、職場などで自分らしく活躍できるよう、取組みを実施します」の部分に、前述の内容を活かした記載がないため、子育てがしやすい職場を作る取組みがあればと感じました。「子育てと仕事の調和の実現」といったテーマがあり、この計画自体が個人、家庭、地域社会、事業者に関わるものとなっておりますので、保育施設だけ拡充すれば子どもが育てやすくなるというわけではなく、社会全体として子どもを育てながら職場で自分らしく活動できるということも記載した方がいいのではないのでしょうか。

事務局

目標2には「ワークライフバランスへの取組み」が入っており、事業者にと働きかけをしていくという意味をこの中に含んでおります。また、吹き出しには、特に重点的に取り組む項目について記載しており、尼崎市としては、待機児童対策を最重要課題としておりますので、待機児童と保育の質、保育士の確保について記載しております。

部会長

1ページ目に理念、2ページ目に3つの視点が記載されていて、それに基づいて3ページ目に4つの目標となっています。表記についてですが、3つの視点の「子どもの主体性の尊重」では語尾が「努めます」「推進します」という表現で、計画的な表記になっていますが、4つの目標の語尾を見ると「行います」「推進します」となっており、少し違和感があると思います。そこで、委員の方々に、このような表記がよいのではないかとということがありましたらご意見をいただければと思います。

委員

3ページの吹き出しの文言は全部「行います」「します」で、「切れ目のない支援」や「ヘルスアップ尼崎戦略を推進」などを、統一した言葉にしたほうがよいのではないかと思います。

また、皆様がおっしゃっている通り、黄色の背景色に白字は見づらいのではないかと思います。

それと表紙の男の子と女の子をもっとかわいらしい絵にすればよいと思いました。

部会長

冊子を見たときに、難しそうな内容だと思うのか、かわいらしい表紙だから中身も見てみようかなと思うのかで、興味の持ち方が変わると思います。

語尾について、視点のところで見ていきますと、「すべての子どもの人権が尊重され、子どもにとっての最善な利益や子ども自身の意思が最大限尊重される環境づくりの視点」の欄では、「取組みを推進します」ではなく、「取組みの視点」といったように、語尾を「視点」にしたほうが収まりがよいのではないかと思います。

委員

視点の語尾を目標的にしたほうがよいと思います。部会長がおっしゃられた「〇〇の視点」というのは腑に落ちます。

事務局

現行計画にも3つの視点があり、そこには「重要です」「大切です」といった言葉を使っておりましたので、語尾を変えてもよいかと思います。

部会長

改めて語尾については事務局で検討していただければと思います。

これまでの部会などでは数値についての議論が行われていたので、これからは構成について話し合えればと思います。全体を見て、これはどういったことなのか、ここはわかりにくいといったご意見を出していただければと思います。特に、4ページ以降について見ていただきたいと思います。

委員

先ほどの、この計画手に取ってもらえるのかといったお話が気になっています。表紙についてですが、「いくしあ」をしっかりとPRする意味でも、ハートの図形を取り入れても良いと思います。子育てをしている方に手に取ってもらえるように柔らかい雰囲気を出せたらと思います。

また、内容について、4ページの尼崎市の市域図をもっと大きくしたり、線路やいくしあ、尼崎城などのランドマークを入れてもよいと思います。6、7ページの見出しが黒地に白抜きになっていて硬く感じます。5ページについては、「市全体」のところが青地に白抜きで、その下の「中央地区」から「園田地区」も全部青地に白抜きになると、並列関係が乱れてしまって市全体のデータが分かりづらいと思います。「市全体」は青地ではなく他の色に変えたほうがよいかもしれません。また、データの分析ということで、例えば令和3年には待機児童はなくなるということであれば、令和3年には待機児童をなくす見込みだという感じで吹き出しなどをつけたほうがわかりやすくなると思いました。加えて、先ほど説明いただきましたが、地域子ども・子育て支援事業と確保方策は全13事業ということなので、この後ろに全13事業と明記していただければと思います。

最後に、6ページの「新・放課後子ども総合プラン」の中に「小1の壁」という言葉がありますが、分からない方のために説明をつけていただければと思います。

部会長

ありがとうございます。色々なアイデアを出していただきましたが、事務局でお答えできることはありますか。

事務局

4ページの市域図を大きくするというご提案を頂きましたが、これは幼稚園、保育園の場所を示しています。幼稚園、保育所、小学校とわけているのですが、さらに私立、公立に色分けしています。ご意見いただきました線路や尼崎城などのランドマークに関しては検討させていただきたいと思います。

また、色の関係のご意見ですが、確かに並列となっていてわかりづらいのは間違いないと思います。この辺りと、吹き出しについても検討させていただきたいと思います。

黒地に白抜き文字のご意見につきましても、わかりやすくしたいと思います。

委員

4ページ以降の色が単調で、読むのが億劫になりそうです。令和3年度には保育園等に入れるかもしれないといった情報があれば、普段読まない人でも読んでいただけたらと思うので、字の配置の仕方や色の使い方など変えた方がよいと思います。

また、6ページの囲っている部分の字が小さいので、もう少し大きくすれば見やすいと思います。

委員

6ページについて、フォントを統一した方が見やすいと思います。また、9ページの下にスペースがあるので、地域子ども・子育て支援事業の見込み及び確保方策は7ページからスタートして、「新・放課後子ども総合プラン」を6ページ全体を使って書いたほうが見やすいと思います。

13事業については、7ページから11ページに収めると、非常に見やすいのではないかと思います。

事務局

「新・放課後子ども総合プラン」のところは、もっと大まかに書いていく案や、資料編の中に入れ込む案も含めて検討していきます。

事務局

「新・放課後子ども総合プラン」は、主に児童ホームについて書いております。9項目についてそれぞれ記載をしていますが、国からは10項目を定めるように指示が出ております。抜けている項目は、上部に記載している量の見込みと確保方策の表となりますので、「放課後児童健全育成事業」との関連性から、併記しなければいけないという事情がございます。

また、記載内容につきまして、実際に県や国と調整の上で項目名だけ記載をし、項目ごとの詳細の内容につきましては資料編のほうで記載されておれば問題はないとの回答をいただいておりますが、県からは、この部分についても市の取り組みということなので計画に載せてはどうかとのご意見をいただいております。

部会長

ありがとうございます。10項目の中の1つが量の確保なので、ここに記載するという事です。1ページで大きく使ってしまうと流れが途切れてしまうと思います。

委員

表紙ですが、「第4期尼崎市次世代育成支援対策推進行動計画、第2期尼崎市子ども・子育て支援事業計画」という文字に固い印象を受けます。表記をもう少し小さくするなどして、印象を和らげるとよいと思います。

2ページについて、「子育てを楽しむための支援」の「子どもが健やかに育つ上では、家庭が果たす役割が大きいため、ともに協力するなど理解し認め合うことで、楽しんで子育てができる環境づくりを推進します」との表現について、主語が省かれているので伝わりづらいです。また、「子どもが育つ上では家庭の役割が大きい」の後に、「ともに協力するなど理解し認め合うことで」とありますが、これは誰と誰が協力して認め合うことが大事なのでしょう。

事務局

家庭が協力をして認め合うということを伝えたいのですが、「父親と母親」や、「家庭」が主語だと違和感を覚えたので省略いたしました。

委員

主語は「家族」もしくは「家庭」でよいと思います。

また、2ページの「子どもの主体性の尊重」の後、「子どもの人権」と「子どもの社会参加」についての記載がありますが、文章ではなく、箇条書きの方がより分かりやすいと思います。

次に、4ページについて、全体的に字が小さく読みづらいです。地図に関しましては、線路が描かれていると、それを基に自分がどこの区域に該当するのか興味を持って見て下さると思いますので、ぜひ追記していただきたいです。また、図表が多く、どの順序で見ればいいのかかわかりにくいので、見る順番を明示してもらえると分かりやすくなると思います。

最後に5ページについて、「量の見込み」という言葉に馴染みがないと思いますので注釈があればよいと思います。

部会長

ありがとうございます。現行の事業計画の35ページ、36ページには表の見方が載っていると思います。今回は数字が並んでいるだけなので、この数字が何を意味しているか、パッと見てわからないということだと思います。前回、平成27年のときには新制度が始まるということで、1号認定、2号認定、3号認定という言葉について注釈が必要だろうということでそのページに記載したのだと思います。こういった情報を入れようとすると、今度は情報量が多すぎることになり、よくわからなくなることもあります。何を載せるかの工夫はしなければならないと思います。

委員

5ページについて、「不足」という言葉にあまり馴染みがないと思いますので、誰が見ても分

かるようにする必要があります。例えば、令和3年度がマイナス、つまり、待機児童数が0の理由や、1号や学校教育の不足、過不足という考え方はないのか、など欲しい情報があるとより良くなると思います。

部会長

ありがとうございます。私のほうから意見を出させていただきます。

5ページについて、令和2年4月1日時点で、尼崎市の公立、私立の保育所が何か所あるのか、幼稚園は何園あるのか、待機児童が何人いるのかという情報も書き加えていただきたいです。今の施設数では足りないという事実が市民の方々にも分かるのではないかと思います。

委員

今回、第2期ということで、第1期の5年間にどれだけの成果が上がったのかが書いてあると、この先5年も期待できるという気持ちが湧くのではないかと思います。

委員

11ページの「妊婦健康診査事業」の検査項目について詳しい記載がございますが、検査内容について確保方策で周知する必要はあるのでしょうか。

また、9ページの空いたスペースが気になりますので、可能であれば5ページの「保育施設等（2・3号）の入所定員増に係る各種確保方策」をこちらに記載してほしいです。4ページについては、地図を大きくしたり、カラーにしたり、ランドマークになるような駅や施設などを描き加えたりすれば、非常に興味を引くと思います。

委員

6ページの「新・放課後子ども総合プラン」について、字数が多いので図を入れると読みやすくなるのではないかと思います。例えば①や②に該当する児童ホームやこどもクラブについては全部の学校に配置できているので、達成済みの印をつけたりなどをすると興味を引くと思いますし、PRもできると思います。

部会長

現行の事業計画の58、59、60ページ辺りは質の高い保育をしていくための理念に関して記載があり、また、現行の次世代計画の64、65ページに切れ目のない支援に関しての記載がありますが、これらについては資料編に盛り込むのでしょうか。

事務局

推進体制の確保については12ページに記載しておりますが、就学前の教育・保育の重視、ライフステージに応じた子育てに関する支援については、本編に書き込むのは難しいと思っております。

委員

6ページについて、「③時間外保育事業（延長保育事業）」のように、「①放課後児童健全育」を「①放課後児童健全育成事業（児童ホーム）」と表記したほうが、わかりやすいと思います。

また、「②利用者支援事業」も馴染みがないので、より分かりやすい説明がほしいです。
これは、相談に関することや、育児支援専門員派遣などを指すのでしょうか。

事務局

利用者支援事業は平成 27 年から実施しており、前回は総合的利用者支援事業という表記で計画に記載させていただいておりました。

総合的利用者支援事業について、現行の次世代計画の 64 ページ「子育てを楽しむ家庭環境づくり」に「総合的利用者支援」と書いておりましたが、国では「利用者支援事業」と掲げられておりますので、「総合的利用者支援」という表現がわかるのかという部分もあります。

委員

相談に関することや、育児支援専門員派遣なども該当するのですか。

事務局

問題をお持ちのご家庭に対して、最初の窓口となり、相談を受けて総合的な対応をするのが利用者支援の役割の 1 つとなります。

委員

括弧の中に具体的な取り組み内容がイメージできるものがあればいいなと思いました。「⑤地域子育て支援拠点事業」についての括弧書きがないのですが、すこやかプラザやつどいの広場などが該当するのでしょうか。

事務局

ここを括弧で書くとすれば、「つどいの広場等」となります。

委員

例が記載されているとイメージしやすいと思います。

委員

いちばん最後まで読み進めていくと、QRコードがありますが、最初にQRコードを載せて、「詳しくこちらを見ていただければ、見方などが載っています」と表記した方が、取扱説明書のように読み進められると思いますので、ぜひご検討ください。

部会長

見やすさという視点で、事務局で考えられていることはありますか。

事務局

色々な冊子等を参考に見ますと、QRコードからアクセスをしたら、より詳細な内容を知ることができるということで、最後に表示にされていることが多かったのも、それに倣っております。

委員

確かにそうだと思いますが、最初にあった方がわかりやすいのではないかと思います。検討いただければと思います。

委員

今のご指摘は非常に斬新でよいと思いました。QRコードの載せ方に工夫が見えるので、よいアイデアだと思います。今日、実際に自分のスマホでも見てみましたが、ぜひトップページに載せていただくと面白いと思います。手に取って見ていただきやすいのではないかと思います。

委員

6ページからの13事業の名称の黒地の部分を、別の色に変えると見やすくなると思うのですが、子どもに関することなのでイラストがあってもよいと思いました。

また、最後のページについて、全体的に文字が左に詰まっていて、イラストが右にあります。これをバランスよく配置したら読みやすく見やすいページになると思います。

2 その他

- 今後のスケジュール等について事務連絡

部会長

以上をもちまして尼崎市子ども・子育て審議会第7回計画策定部会を終了させていただきます。

閉会

以 上

会 議 録 署 名 者

委 員

委 員